

島原市地域公共交通協議会

平成20年3月25日設置
平成21年3月23日連携計画策定



概要

市内には鉄道やバス、フェリーなどの公共交通機関が存在するものの、人口の減少、高齢化の進展等により厳しい経営状況にあることから、既存の公共交通の利用促進、バス交通空白地帯の解消、利用効率の低いバス路線の解消を図るため、中心部循環線の実証運行、乗合タクシーの実証運行、バス待合い環境の向上等の事業を実施する。

○買物ニーズに対応した中心部循環線の実証運行

森岳、霊丘、白山地域で市内中心部の商業集積地を循環するバスの実証運行を実施し、潜在需要の喚起を試行する。並行して利用促進の啓発を行う。

○コミュニティバスや乗り合いタクシー実証運行

三会、安中地区でコミュニティバス(ジャンボタクシー)を実証運行、潜在需要の喚起を試行する。

○運行本数調整による乗り継便実証運行

有明地域で交通空白地域におけるコミュニティバス(ジャンボタクシー)を実証運行し、潜在需要の喚起を試行する。並行して利用促進の啓発を行う。

○バス停(待ち空間)の快適性向上

杉谷地域(工業高校前)、安中地域(中央高前)でバス停の上屋整備を行い、学校等を含めた住民のバス利用向上を図る。

○紙面による情報提供

市内全域でバス、鉄道等複数の公共交通機関の情報をまとめたマップを作成、配付し、公共交通の利用促進を図り、潜在需要の喚起を促す。

